

総務

佐賀駅前交流広場の指定管理者の指定について

〔質問〕公募型プロポーザル方式での選定とのことだが、審査結果の審査員講評に市からの財政支援によらない運営の提案を高く評価したとあるが、公募条件ではなかったのか。

〔答弁〕収支計画を審査項目に入れていたが、行政の支援によらない運営を条件にはしていない。

〔質問〕収支計画のどのような部分が審査員に評価されたのか。

福祉教育

一般会計補正予算中、送迎用バス安全装置導入支援事業

〔質問〕安全装置の耐用年数はどのくらいか。

〔答弁〕国において具体的な基準等が決定しておらず、確認していない。

〔質問〕令和5年4月から設置が義務付けられるとのことだが、設置しなかった場合に罰則等は課せられるか。

〔答弁〕最近発生した事故等の影響から、全ての送迎バスに設置が義務づけられるものと考えているが、国において具体的な規定が示されていない。

〔答弁〕自主事業として大型ビジョンによる広告事業の提案があり、広場の利用料に加えて広告収入の提案があった点などが、信用力の高まりにつながったと考える。

〔質問〕評価項目「中心市街地をはじめとした周辺地域への波及」で大きな点差が見受けられるがその理由は。

〔答弁〕中心市街地と駅周辺を結ぶ歩くイベントや城内でのイベントとの連携により市街地の回遊を促す提案等、選定された候補者のほうがより具体性があり、実効性が期待できる内容で優れていると審査員が判断されたと考える。

常任委員会

一般会計補正予算中、健康運動センター災害復旧事業

〔質問〕復旧までに長い時間がかかっているがその理由は。財源の問題も関係しているのか。

〔答弁〕令和3年8月の被災後、仮復旧として機械室の浸水対策を行い、主なプール関係設備の修繕を実施した。当該施設は開設から相当の年数



同議案中、出産・子育て応援給付金

〔質問〕妊娠届出時と出生届出後にそれぞれ面談をしないと給付金は支給されないのか。

〔答弁〕支給対象者の事情に合わせて、できるだけ接触してさまざまな話を聞くことができるよう、柔軟に対応していきたい。



〔質問〕既に出生した子どもがいる家庭に対しては、どのような方法で接触するのか。

が経っており設備の総入替があわせて必要なことから、今回の本復旧に係る設計業務の中で工事内容の検討を行うとともに、財源に災害復旧事業債を充てることなどの協議もあり、今に至った。

〔質問〕資材調達に時間を要した場合は令和6年度に繰り越す可能性ありとあるが、当初からその不安はあるのか。

〔答弁〕主に設備を制御するための配電盤や電気関係の部品調達に時間を要する見込み。資材調達が間に合えば前倒しで工事を進めていきたい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

〔答弁〕2月上旬に送付する申請書にアンケート等を同封して困り事などをお聞きし、必要があれば個別に対応していきたい。

〔質問〕出産応援給付金を受給した後、転居等をした場合、子育て応援給付金の支給はどうなるのか。

〔答弁〕それぞれの届出を行う時点の住所地で支給することを想定しており、必要に応じ転居等の情報を市町間で確認し、支給漏れがないよう対応したい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

経済産業

佐賀市衛の湯の指定管理者の指定について

〔質問〕一年間の指定管理期間の中で、さまざま改善を図ってきたとのことだが、これで万全と捉えているのか。

〔答弁〕経費削減による経営状況の改善が見られるが、今後は入館者を増やす取り組みが必要と考えている。

〔質問〕最近、日帰りの温泉施設として古湯、熊の川を含めて観光客が増えてきていたが、影響はあったのか。

〔答弁〕4月、5月の入館者数は好調だったが、9月に台風の影響による休業等が

あり、現時点では若干減っている。
〔質問〕今後、経年劣化による機器の補修等が必要になってくるのではないか。

〔答弁〕少しづつ修繕しながら経営を続けているが、長く続けるためには大規模な施設の改修も必要となる。

今後、施設を維持していくか総合的に考



常任委員会

えなければならぬ時期にきていると考
えている。

佐賀市観光情報発信会館の指定管理者の指定について

〔質問〕観光情報の発信と特産物の普及促進を行い、一定の誘客、売上げを保っているとのことだが、売上げが多ければ、指定管理料が変わることはあるのか。

〔答弁〕毎年度締結する協定に減額の条項はないが、黒字があまりに大きければ、協議が必要と考えている。

〔質問〕駐車場が狭すぎるため、広げた

ら売上げも増え、指定管理料を下げること
もできるのではないか。

〔答弁〕利便性を鑑み、現地を確認して検討したい。

〔質問〕観光情報を発信しているボランティアガイドの人数と勤務時間は。

〔答弁〕7名おり、予約制で行っている。

〔意見〕売上げに対するインセンティブは、観光客等へのサービスの拡充につながるため、PFS方式の採用等、もう一歩踏み込んだ検討をお願いしたい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。

建設環境

神水川公園の指定管理者について

〔質問〕神水川公園の指定管理者として、一般社団法人神水川公園協議会を選定することだが、指定管理者の人員体制、通常時の運営人数は何名か。

〔答弁〕協議会の役員は合計10名である。指定管理業務の人員体制は、業務内容毎の延べ人数で15名である。そのうち、繁忙期を除く通常時は4名から5名程度の出勤となっている。



市道路線の認定について

〔質問〕分譲地の場合、全て舗装されていなくても市道認定できるのか。

〔答弁〕舗装が終わって、道路として通行が可能になった段階での認定となる。

専決処分報告について

〔説明〕市営住宅使用料の支払いが滞っている入居者に対して、住宅の明け渡しを求めて提訴するものである。滞納については再三の訪問や通知を行ったが、通

告状は受理されず、訪問しても会えない状況で現在の所在は不明である。連帯保証人に連絡するも対応出来ないとのこと
で、滞納解消に向けた解決策もなく、住宅使用料がかさむのみであるため提訴することになった。

〔質問〕連帯保証人が対応出来ないという理由は。

〔答弁〕出来ないの一言のみで断られるという状況である。連帯保証人へ連絡しても、知らないの一点張りとなるケースが非常に多くて苦慮している。

〔質問〕明け渡しの次の手続きはどうなっているか。

〔答弁〕明け渡し後も債務については本人や連帯保証人に対し請求を行い、回収努力をしていく。
〔意見〕連帯保証人にも方が一の場合は補償していただくように約束を取り付けておかないと、同様の事例がどんどん出てくるのではないか。顧問弁護士に相談し、法的な手段で連帯保証人に対して支払いを求めると、検討していただきたい。

〔審査結果〕全ての議案について、可決すべきものと決定。

※1 PFS方式…行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、成果指標値の改善状況に連動して委託費等を支払うことでより高い成果の創出に向けたインセンティブを民間事業者に強く働かせることが可能となる、新たな官民連携の手法。